

映画上映（深夜）

山下 治

「失 神」

「情事残酷史」

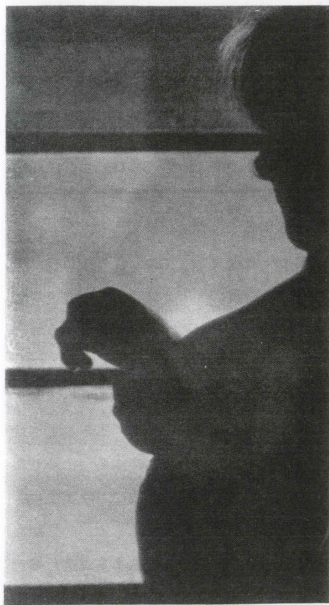
「新情事の履歴書」

梶田利雄

「艶 歌」

千野皓司

「極道ペテン師」



のダイヤは遠く色褪せた。今、〈沈黙〉とは己れの位置・位相を奇妙な明るさの内に強圧的に変移させんとするなにかへの敵対の姿勢であらねばならない。黙っている姿勢であってはならない。黙して拒否する表現の闘いの姿勢でなければならぬ。現在、私達が対峙している〈沈黙〉は、私達をその内側に自然の如く存在せしめ、安易な生活を許容せしめてしまう〈権力Ⅱ法Ⅱ国家〉への〈沈黙〉である。〈沈黙〉する事により〈国家〉からの関係性を拒否し〈国家〉を己れに對し外在させる事。個々の〈沈黙〉の領域を無数存在せしめその〈沈黙〉の持つ暴力性を〈表現〉する事。今、〈無為〉を貫徹せよ。不確定な〈無為〉の連続的行為を己れに關係性を強要する〈敵〉への〈表現〉とせよ。連続的〈無為〉の位置量や運動量を拡大し〈無為〉の群れの乱舞する領域を構築せよ。〈敵〉の時間と空間に己れの〈無為〉の時間と空間を突入させ占拠せよ。〈敵〉からの關係性を〈沈黙〉し〈無為〉で報復せよ。

本部企画

映画研究会協力

5月29日(土)

PM10:00～

翌朝6時まで

6番教室



当日は弁当、飲み物等々の販売をしております。

〈沈黙〉〈表現〉〈無為〉

涙が零れたようだ 貧しい乳房にほとんど
〈哀〉を感じながら 黒髪を三面鏡に向つて梳くおまへは三人のおまへと敵対し 見えなくなつたわ とつぶやく 夢へ昏れゆく北国の街を一冊の詩集を手に旅する 解放区を赤や青のペンキで彩色する 狭い部屋での二人の無限の時間と空間 たったこれだけだつたのに…… 鏡を見つめる不安なおまへは嘆息を殺す 薄紅色のルージュをひき 鱗粉をまき散らし メタモルの不安と期待に涙腺は熱くなる 〈他人に裏切られるより早いスピードで自分を裏切らなければ……人殺し一つ、犯罪一つ出来やしないノ(性賊) 夜深の最弱音の中で 鏡の中の苦い失意と疲労 おまえの細い肩は 震えている……充血したおまえの瞳との 視線の交差は なくなっている

〈沈黙〉を〈表現〉せねばならない。灰の中